

# 森林組合だより

発行  
丹後地区森林組合  
京丹後市弥栄町吉沢940番地  
☎0772-65-4670

## 年頭のご挨拶

丹後地区森林組合

代表理事組合長 江浪 敏夫



明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、輝かしい年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

平素は、丹後地区森林組合の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の元日に発生いたしました能登半島地震においては、多数の方がお亡くなりになり、被災住宅も8万棟近くに及び大きな災害となりました。また、大地震に続いて、9月には線状降水帯による大雨により大きな被害が発生しました。お亡くなりになりました方々のご冥福を心よりお祈りし、被災されました方々にはお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を願ってやまないとこころです。

近年、全国各地で大規模な自然災害が多発し、国民生活に大きな影響を及ぼしていることから、国において「防災、減災、国土強靱化対策」を進め、森林整備事業や治

山事業などに予算を重点的にいい防災・減災に努めるとともに、2050年カーボンニュートラルやグリーン社会の実現に向けた取組を通じて林業の成長産業化を目指す取組も進められています。このような状況の中、一昨年から森林整備事業の拡大に向け、環境に配慮した皆伐再造林の循環型施業(複層林誘導伐施業)を久美浜町で取り組んでおり、安全で効率的な実施方法を検討し、着実に施業を進めております。

令和6年度からは森林環境税の徴税が始まり、譲与税に対する国民の理解を得るために一層森林整備等の取組を行う必要があります。また、関係者の運動により譲与税の基準も見直されたところです。

当組合も森林整備センターや京丹後市・京丹後市と連携をしながら、森林環境譲与税などを上手く活用し整備の遅れている森林の解消や木材生産量の増大に向け、努めてまいる所存であります。

本年も組合員の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 本年もよろしく

お願い致します



代表理事	江浪 敏夫
代表理事専務	大江 栄
地区担当理事	田中 哲也
〃	水口 茂
〃	松下 敏
〃	川戸 一生
〃	岡崎 不二夫
〃	城下 佳郎
理事	川村 博茂
〃	吉岡 正俊
〃	瀬戸 恭敬
〃	畑山 明男
〃	山形 健一
〃	小石原 義男
代表監事	山口 義雄
〃	糸井 正彦
〃	入江 範久
監事	従業員一同

# 松枯れ防止樹幹注入のお知らせ

松は放っておくとマツクイムシが入り枯れてしまいます。それを防ぐため、松枯れ防止剤の樹幹注入をお勧めしています。(ただし、予防効果は100%ではありません。)



■施工料金目安 (松の木1本当たりの価格です。)

胸高直径	薬剤量 (1本60ml)	施工料金 (税抜予定価格)
10 ~ 20cm	1本	4,500円
20 ~ 25cm	2本	8,000円
25 ~ 30cm	3本	10,500円

30cm以上は径が5cm増すごとに、薬剤が1本増えます。

※施工の際は個別にお見積り致します。

## 出資証券の名義変更にご協力をお願いします

現組合員さんが亡くなられた後、出資証券の名義がそのままになっていませんか。名義や住所などに変更があった場合は、お気軽にご連絡ください。

丹後地区森林組合 総務課  
TEL (0772) 65-4670

## 事業紹介

○令和6年度京都府有林管理事業 丹後町袖志 長い既設作業道を修理し、作業に入りました。



作業道修理



間伐作業

○令和6年度京丹後市経営管理森林整備工事 峰山町鱒留 (市直営事業)  
昨年度に続き、森林経営管理制度に基づく森林整備を実施しました。



間伐作業



間伐後の森林

○令和6年度水源林造成事業 作業道開設 久美浜町二俣  
昨年度に続き、二俣団地で更新伐を行うため、作業道を開設しています。



作業道開設



先行伐採

# 中村俊彦の・・・



皆様、いかがお過ごしでしょうか。昨年を思い返すと、選挙、政治の話題が多かったなと感じます。そして、テレビとSNSでは言っている事が違い、疑心暗鬼になりながらも、自ら情報を集め判断する力が今後は重要になるのだなと痛感した年でもありました。

さて、今回ご紹介するのは、長野県と山梨県にまたがる南アルプスの北部に位置する名峰「甲斐駒ヶ岳」(2967m)です。この山の山梨県側から登る登山道は、山好きの間では言わずと知れた日本三大急登の一つ黒戸尾根コースで、山頂まで片道9時間、累積標高差は2200m!なんと富士山に登るよりキツイんです<sup>MA</sup>。修験の山として開山され、今でも信仰の跡が色濃く残る道で、歩いて歩いても眺望のないうっそうとした樹林帯が続く道のりはまさに修行でした。

そして、今回の山行で改めて感じたのが朝日の美しさと力強さでした。徐々に明るく染まる水平線から、まるで卵の黄身のような朝日が顔を出した瞬間の色というのは、赤ともオレンジとも黄色とも言い難く、そしてあの瞬間にしかない太陽の輝きに目が釘付けになりました。

事前のトレーニングの甲斐もあり、前回に続きキツイ山もまだ登れるという実績ができたので、性懲りもなく、まだ山登りは続けようかなと思う今日この頃でした。



山頂にて



長〜い登山道唯一の癒し ヤマジノホトトギス



朝日



不動明王の信仰の証 二本剣と富士山